

番号	7								
事業名	小学校長期休業子どもの居場所づくり事業【拡充】								
予算額（主な支出）	22,033 千円								
特定財源	利用者負担収入等 5,323 千円								
事業の概要	小学校長期休業期間中の高いクラブニーズを背景に、令和 5 年度に山室山小学校でモデルとして実施した当該事業は、令和 6 年度から全ての小学校のクラブニーズに対応するため、事業規模を拡大して取り組む。								
	【事業内容】								
	(1) 放課後児童クラブに準じた事業を松阪市が運営主体となり実施し、保育運営はシルバー人材センターが行う。								
	(2) 実施場所は 3 つの拠点で実施する。								
	①嬉野社会福祉センター（定員 60 名程度）								
	②子ども支援研究センター（定員 80 名程度）								
	③ワークセンター松阪（定員 40 名程度） 定員合計 180 人程度								
	(3) 利用料等								
	<table><tr><td>夏季（25 日）</td><td>冬季（6 日）</td><td>春季学年末（4 日）</td></tr><tr><td>20,000 円</td><td>5,600 円</td><td>3,900 円</td></tr></table>			夏季（25 日）	冬季（6 日）	春季学年末（4 日）	20,000 円	5,600 円	3,900 円
	夏季（25 日）	冬季（6 日）	春季学年末（4 日）						
20,000 円	5,600 円	3,900 円							
※利用料の減免									
①ひとり親家庭に該当する世帯に対して									
減免額：児童 1 人当たり 3,000 円（ただし、夏季のみ適用）									
②児童 2 人以上利用する世帯で、最も高年齢の児童に対して									
減免額：夏季 5,000 円、冬季 2,000 円、春季 1,500 円									
※利用時間：午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分									
※休み：土日祝日、お盆休み、年末年始									
※昼食は実費負担（500 円/日程度）で提供する。									
事業の背景など	共働きやひとり親世帯の増加等の社会情勢の変化に伴い、放課後児童クラブのニーズが増加し、社会における放課後児童クラブの重要性が高まっている。 令和 5 年 4 月に実施した保護者向けアンケートにおいて、夏休み等の長期休業中のクラブニーズは高く、子育て支援対策を急ぐ必要がある。								
目的・効果など	夏休み等の小学校長期休業期間中、保護者が就労等により児童の見守りを行うことができない家庭の児童の良質な居場所を提供する。								
事業スケジュール	・利用者募集 令和 5 年 12 月 18 日～令和 6 年 1 月 31 日（終了） ・利用者決定 令和 6 年 2 月中旬 ・利用者説明会 長期休業が始まる一週間前 ・利用料の納付 各長期休業が始まる一週間前まで								
添付資料	あり								
担当課	教育委員会事務局 生涯学習課	電話 53-4395							